

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議では自己評価・外部評価の結果報告他、活動状況・利用者の状態報告等を行っているが、認知症患者の増加に伴って地域でどの様に対応していけば良いか等、GHの運営よりも地域に対する話を中心になってしまっている。	①GHの理解が深まる ②積極的に意見を求め、ホームの質確保・向上を図る	①自己評価・外部評価の報告他、活動状況や利用者の状態を報告するだけでなく、評価項目についての課題や改善に繋げた取り組み内容を議題に入れ、参加メンバーから意見を頂ける様、双方向的な会議となる様努める。 ②利用者の精神状態等を考慮し、系列施設の会議室等を利用して開催していたが、GHの事を理解して頂くためにもユニットホールを活用して会の開催を進めていく。	24 か月
2	35	系列施設との協力体制を図る為、防災委員会を立ち上げ定期的な話し合いがとれる様努めてきたが、参加率が悪く、グループ内での防災マニュアルを完成するまでには至っていない。まずは、系列グループ内で取りまとめる事が一番だと思い目標に掲げていたが、他施設の協力が得られず実現は困難。	①同法人である、『春水』(隣接施設)と、年1回合同で訓練を行う。 ②地域との協力体制が築ける	①春水と共に訓練を行い、災害時の避難方法や対応について話し合いの場を持つ。 ②運営推進会議の構成員の中には、元消防署職員他、消防団員が参加されているため、災害時のアドバイス等を頂きながら、地域との協力体制が築けるように相談していく。	24 か月
3					か月
4					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。